

## 公 示

## 根研究会学術賞規定

1. 本会は、会則第3条に基づき、本規定を定める。
2. 本会は、植物の根（その他の地下器官を含む、以下同様）およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与したものに対して根研究会賞を贈り、これを表彰する。
3. 根研究会賞としては、根研究会学術功労賞、根研究会学術奨励賞、根研究会学術論文賞、および根研究会学術特別賞をおく。根研究会学術功労賞および根研究会学術奨励賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した根研究会会員の研究を対象とする（すでに原著論文として発表されたもので、少なくともその一部が、根研究会の研究集会・シンポジウムなどの会合、あるいは会誌などで会員に紹介されていること）。根研究会学術論文賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術に寄与した根研究会会員の論文を対象とする。発表媒体や発表形態（例えば、原著論文であるか総説であるか）を問わない。根研究会学術特別賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した業績を対象とする。会員であるかどうか、また、業績の形態（例えば、出版物かどうか）を問わない。
4. 根研究会賞はいずれも、会員もしくは関連分野の研究者などから推薦のあった対象について、評議員が審議し、その結果を踏まえて、会長および副会長が協議して決定を行なう。ただし、会長および副会長は任期中および任期満了後2年間は推薦すること、あるいは推薦されることができない。

以上

-----  
**2007年度 根研究会賞 推薦 受付 中！ (2007年7月25日まで)**

本号の巻頭で公示したとおり、上記の規定に基づき2007年度根研究会賞の推薦（自薦も可）を7月25日まで受け付けます。積極的に推薦をお願いします。

各賞の応募資格を要約すると以下のようになります。

- ・学術功労賞／学術奨励賞：  
根研究会会員の研究。 原著論文（他誌でも可）として発表済み。  
根研究会の会誌や集会などで業績の一部が紹介されている。
- ・学術論文賞： 根研究会会員の論文（他誌でも可）。総説などでも良い。
- ・学術特別賞： 会員でなくても良い、 出版物はなくても良い。

推薦人は、会員でなくても結構です（ただし、学術功労賞・学術奨励賞で自薦の場合は会員に限る）。

推薦状は、A4版の紙1枚に賞の種別、候補者氏名、業績タイトル、業績の概要や意義などを記載して下さい。業績一覧表および論文などの別刷かコピー2部を添付して下さい[#1-3]。業績の概要においては、添付された業績一覧表に挙げた文献との対応が明確になるような配慮をお願いします。

#1: 別刷等は、原則としてお返ししません、返却が必要な場合は、その旨お書き添え下さい。

#2: 電子媒体でも結構です。PDFファイルをCD-Rで添えるかメールに添付して下さい。あるいは、誰でも無料で全文を閲覧できる論文やホームページであれば、そのURL（アドレス）を業績一覧の中に記載することで、別刷に代えることができます。もし、業績すべてがPDFやURLであれば、すべてメールで済みますので、郵送の必要はありません（ただし、総容量が50MBを越える場合はメール送信前に事務局にご一報下さい）。

#3: 学術特別賞は、文献・出版物を必要としませんが、もし、その業績を紹介したホームページ、文献、新聞記事などがある場合には業績一覧表に記載し、可能であればコピーなどを添えて下さい。

推薦状と添付資料一式の送り先は、根研究会事務局（〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 栽培学研究室 阿部淳気付 / Tel・Fax 03-5841-5045 ; neken2007@jsrr.jp）です。

\*到着後数日以内に推薦者に受け取りのご連絡をします。連絡がない場合は、事務局までお知らせ下さい。

\*推薦状は、郵送のほか、なるべく E-mail の添付ファイルとしても、お送り下さい。